

平成22年度の財政効果は、約1億4,400万円 行財政改革の成果を公表します

平成22年度は、「第3次よしかわ行財政改革大綱(基本的な取り組み方針を示した計画)」と「新行財政改革推進プラン(大綱に沿って具体的な取り組みを定めた計画)」の5年計画の1年目となります。平成21年度までの集中改革プランによる効果が続く中、さらに、約1億4400万円の効果がありません。

平成22年度の行財政改革の主な取り組み結果

- 有料広告収入：市ホームページ89枠、広報よしかわ74枠、ごみカレンダー16枠、健康カレンダー160枠
- 窓口封筒の寄付受け入れ：5万4000枚
- 職員削減：9人削減
- 職員給与のうち、地域手当支給率の引き下げ：4%↓3%
- 給料月額の特例減額：市長、副市長、教育長の給料月額10パーセント減額
- 家庭系ごみ排出量の減少：1日市民1人当たり家庭系ごみの

排出量655グラム↓643グラム

- ふるさと納税：108万円
- ISO9001に基づく事故などの再発・未然防止のための取り組み：31件

住みよさランキング2011

「住みよさランキング」は、毎年、東洋経済新報社が公的統計をもとに、「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」の5つの観点・14指標から、それぞれ偏差値を算出し、ランキングするものです。(参考：2010年版 吉川市は全国58位、県内2位)

2011年版の「住みよさランキング」は、3月11日に発生した「東日本大震災」による被災地の甚大な被害状況を考慮し、東洋経済新報社で、公表を控えることとなりました。

引き続き「住みよさ日本一」を目指したまちづくりを大きな目標として、今後とも、全力で市政運営に取り組んでいきます。